

# FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない  
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故  
を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示して  
います。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」を  
よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みに  
なったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ  
さい。



## CDX-M750



# 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

## 道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線が外れていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

## 警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

### ⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

## 注意を促す記号



火災



感電



指挟み

## 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

# 目次

---

△警告・△注意 .....	4
はじめに .....	7
まず、本機をリセットする .....	7
CD・ラジオの聞きかた .....	8
各部のなまえ(カードリモコン)...	10
各部のなまえ(本機).....	12
ロータリーコマンダー(別売り) の操作 .....	13
メニュー画面 / リスト表示について .....	15
時計を合わせる .....	17

---

## CD・MD

CD/MDを聞く .....	18
繰り返し聞く (リピート再生) .....	21
曲順を変えて聞く (シャッフル再生) .....	22
ディスクに名前をつける(ディスク メモ/カスタムファイル).....	23
CDの聞きたい曲だけを聞く (パンク/カスタムファイル) .....	25
ディスクを名前で探す (リスト).....	27
CD TEXTを見る .....	28

---

## ラジオ

放送局を自動で登録する .....	30
特定の放送局を登録する .....	33
放送局に名前をつける (ステーションメモ) .....	34
放送局を名前で探す (リスト).....	36

---

## テレビ・ビデオ

別売りのテレビを見る .....	37
別売りのビデオを見る .....	39
映像を見ながらディスクを聞く (サイマルプレイ).....	40

---

## 携帯電話

電話をかける .....	41
電話を受ける .....	42
その他の操作 .....	43
その他の設定 .....	44

---

## サウンドの設定

DSOを設定する .....	45
イコライザーを使う (EQ) .....	46
リスニングポジションを設定する (POS) .....	48
音のバランスや音質を設定する (バランス)(ATT) (ソースサウンドメモリー) .....	50
スピーカーの出力を設定する .....	51
サブウーファーの出力を 設定する .....	53
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA) .....	55

---

## その他の操作

音や表示などの設定を変える (Set/Dis/Snd) .....	56
--------------------------------------	----

---

使用上のご注意 .....	58
故障かな? .....	60
保証書とアフターサービス .....	64
主な仕様 .....	65
本体の取り外しかた .....	66
索引 .....	67

# 警告



下記の注意事項を守らないと火災・  
感電により死亡や大けがの原因  
となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する  
本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の  
「取り付けと接続」の説明に従って、正し  
く取り付けてください。正しい取り付けを  
しないと、火災や感電の原因となります。



## 内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因とな  
ります。万一、水や異物が入ったときは、す  
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご相談ください。

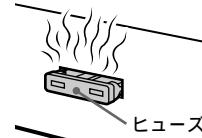


## 規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ  
に記された規定容量のアンペア数のものをお  
使いください。規定容量を越えるヒューズ  
を使うと、火災の原因となります。



禁止



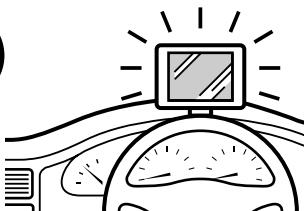
ヒューズ

## 前方の視界を妨げる場所に、ディス プレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの  
原因となります。また、取り付ける場所  
が、助手席用エアバッグシステムの動作の  
妨げにならないことを確認してください。



禁止



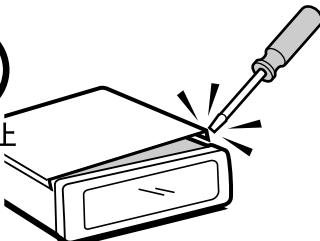
## 分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ  
ニーサービス窓口にご依頼ください。



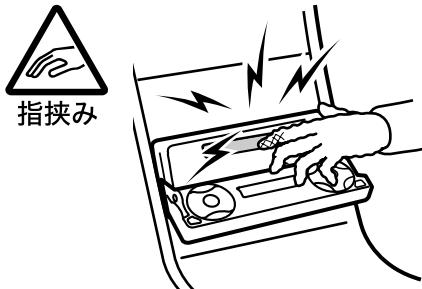
分解禁止



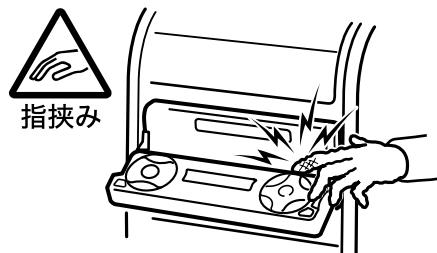
# ⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない  
内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



フロントパネルの開閉中は、手を近づけない  
手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



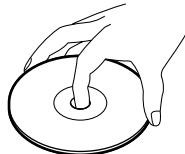
フロントパネルを閉じるときは  
フロントパネルが開ききっているときに無理な力を加えて閉めたりしないでください。  
故障の原因になります。必ずOPEN/CLOSEボタンで開閉してください。



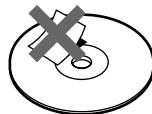
## コンパクトディスクについて

CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことご注意ください。

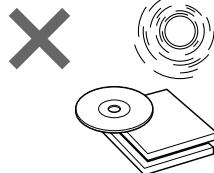
記録面に触れないよう持ちます。



ディスクに紙などを貼らない。

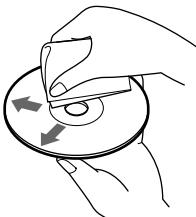


直射日光やヒーターの温風噴き出し口や、直射日光下で窓を閉め切った車内はかなり高温になりますので、絶対に放置しないでください。



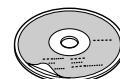
再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向にふき取ってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることができますので、使用しないでください。



こんなディスクは使わないでください  
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDで、シールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの。
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのCDに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。
- 本機ではCD(円形ディスク)のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。



### CD-Rについてのご注意

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R(レコーダブル)ディスクを再生することができます。ただし、録音に使用したCD-RレコーダーやCD-Rディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-Rディスクは再生できません。
- CD-RW(リライタブル)ディスクは再生できません。

# はじめに

- ・本機はCDとラジオに対応。
- ・広がりのある音場を創造する新機能DSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能付きHX-DSP搭載。
- ・好みの音質に調整可能な7バンドEQ(イコライザー)機能搭載。
- ・運転感覚で操作できるロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器も本機のボタンまたはカードリモコンで操作できます。

- ・CDチェンジャー、MDチェンジャー
- ・テレビ、ビデオ
- ・携帯電話用ハンズフリーキット XCH-1000

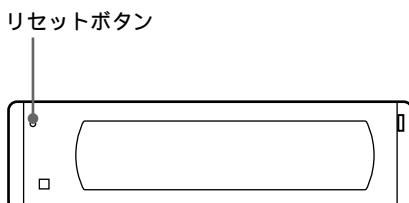
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのロータリーコマンダー、CD/MDチェンジャーやテレビ、ビデオ、携帯電話用ハンズフリーユニットを接続した場合の操作方法についても説明しています。

## まず、本機をリセットする

初めて使うときや、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押し  
ます。ただし、針のような物で強く押すと  
故障の原因となります。

### ご注意

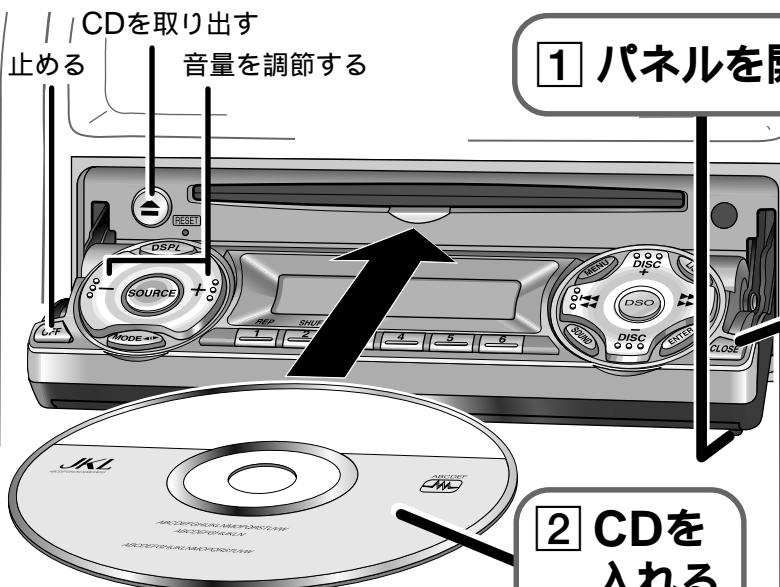
- ・リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えるものがあります。その場合は、登録し直してください。
- ・リセットボタンを押してから初めてフロントパネルを開けた場合、10秒間はCDを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。



# CD・ラジオの聞きかた

## CDを聞く

本機は8cmCDがそのまま再生できます。  
8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると誤動作することがありますので使用しないでください。



聞きたいところを探す(手動サーチ)  
SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたいところで離します。



再生中のCDの1曲目の最初または最後の曲の終わりまで進めると「...」または「...」と表示され、それ以上進めなくなります。

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))  
SEEK/AMSボタンをとばしたい曲の数だけ短く押します。



### 1 パネルを開ける

### 2 CDを入れる

ラベル面を上にして入れます。  
自動的に再生が始まります。

### 3 パネルを閉める

ディスクが入っているときは  
SOURCEボタンを押して「CD」表示にすると再生が始まります。

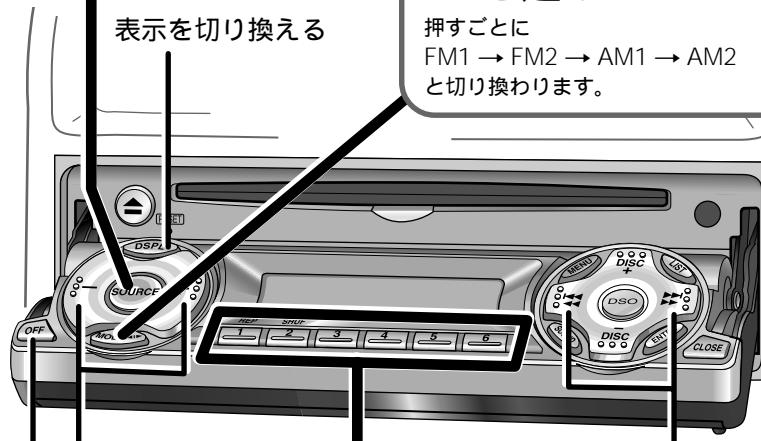
表示を切り換えるには  
DSPLボタンを押します。

止める / 電源を切るには  
OFFボタンを押します。

## ラジオを聞く

本機のボタンで操作するにはOPENボタンを押してフロントパネルを開いてください。

### 1 ラジオ受信にする



### 2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切りわります。

### 3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。

くわしくは30、33ページをご覧ください。

本機の下段の機器を使用するときは、  
フロントパネルを閉じてください。

- 下段の機器のボタン類が押せない
- 表示窓が見えない
- ソフト交換ができない
- ことなどあります。

自動選局で受信する(自動選局)  
SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。



希望の放送局を受信する(手動選局)  
SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

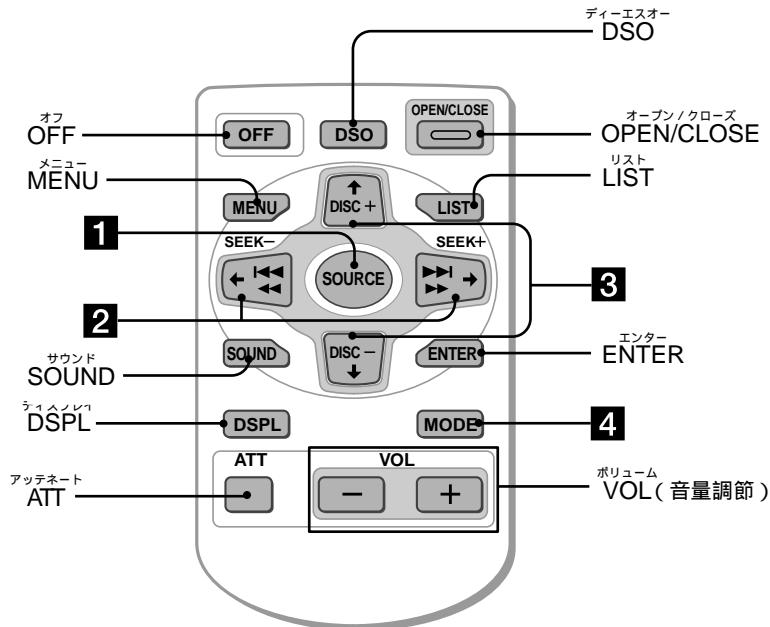


# 各部のなまえ(カードリモコン)

本機の操作は、カードリモコンで行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



## ご注意

本機またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするために、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってください。

## 1 SOURCE( ラジオ/CD/MD/TV/TEL切り換え ) 18 19 30 37 38 39 40 41 42 43 44



ラジオ	周波数の低い 放送局へ (押し続ける)	周波数の高い 放送局へ (押し続ける)
-----	---------------------------	---------------------------

CD/MD 前の曲へ 次の曲へ  
早戻し 早送り  
(押し続ける) (押し続ける)

TEI 着信履歴 発信履歴

### 3 ディスク/プリセット



次八



前へ

ラジオ/TV 登録した局の選局 31

## CD/MD ディスクの選択 19 ( チェンジャー接続時 )

## 4 モード MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の  
切り替え ⑩

CD/MD\* CD/MD機器の切り換え 18

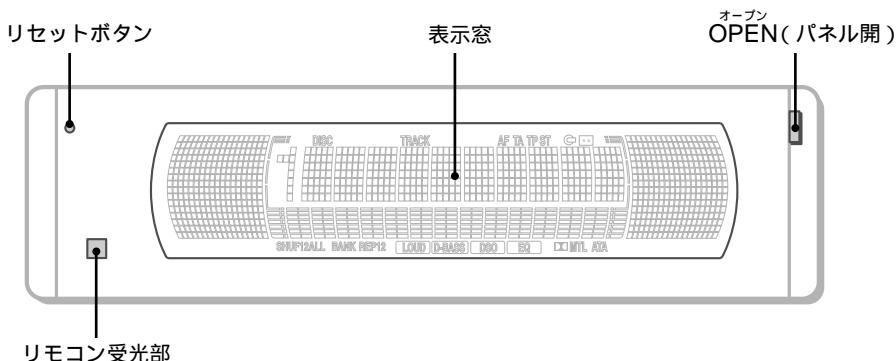
TV\* TV1/TV2/AUXの切り替え  
37 38 39 40

\* 別売りの機器が接続されているとき

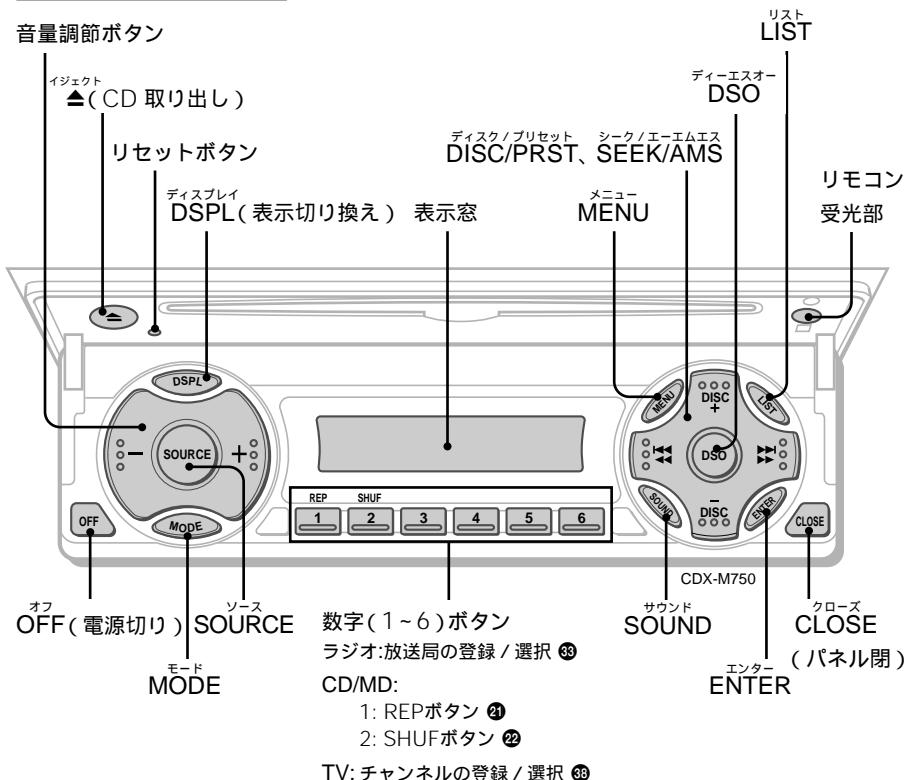
ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

# 各部のなまえ(本機)

## ディスプレイサイド



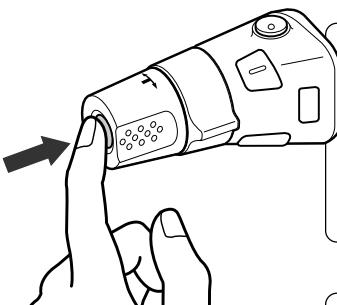
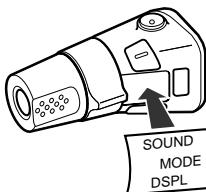
## オペレーションサイド



# ロータリーコマンダー(別売り)の操作

## ロータリーコマンダーのシールについて

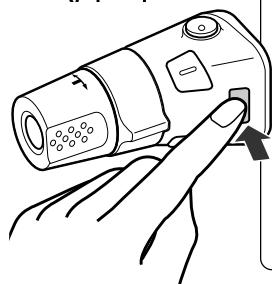
本機には、別売りのロータリーコマンダー(RM-X4S)を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。



### ソース SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが  
TUNER CD MD\* TV\* TEL\*  
と切り換わります。

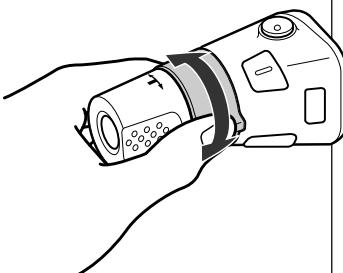
\* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



### モード MODEボタンを押すと

ラジオの時 : FM1 FM2 AM1 AM2 ...  
CDの時\* : CD1 CD2 CD3 ...  
MDの時\* : MD1 MD2 MD3 ...  
テレビ/ビデオの時\* : TV1 TV2 AUX ...  
と切り換わります。

\* 別売りの機器を接続時のみ表示します。



### シーク/エーエムエス SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

ラジオ... 自動的に放送局を受信する  
回し続けると特定の周波数に合わせられます。

CD/MD... 曲の頭出しをする

回し続けると早く送られ、離すと再生に戻ります。

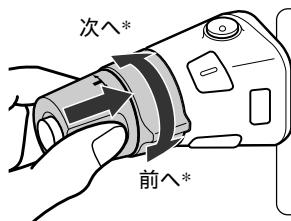
テレビ... 自動的に放送局を受信する

回し続けると特定のチャンネルに合わせられます。

TEL... 発信・着信履歴をそれぞれ最大10件まで呼び出せます。

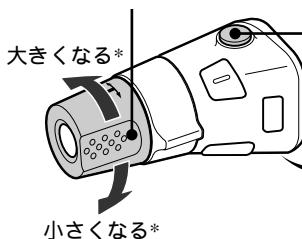
次のページへつづく

## ロータリーコマンダーの操作(つづき)



ボリューム  
VOLつまみを押しながら回すと  
FM/AM/TV... 登録した放送局を順に受信する  
CD/M...ディスクを切り換える\*\*  
表示画面は数秒後にもとに戻ります。

音量を調節する\*\*\* (ボリューム VOLつまみを回す)



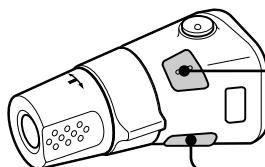
音量を瞬時に下げる(ATTボタンを押す)  
解除するにはもう一度押すか、VOLつまみ  
で音量を上げます。

電源を切る(OFFボタンを押す)

\* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した  
方向になっています。

\*\* チェンジャー・接続時のみ。

\*\*\* TEL時は登録した電話番号を選択するつまみになります。



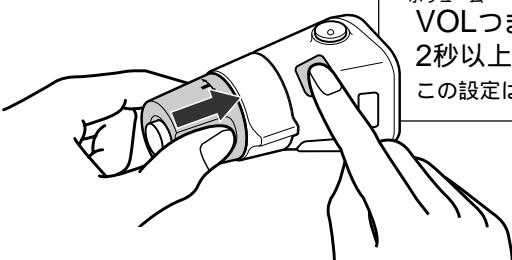
音量調節・音質選択する(SOUNDボタンを押す)  
本体のSOUND/EQボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える(DSPLボタンを押す)  
本体のDSPLボタンと同じ働きをします。

### つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方  
向を逆に設定できます。

ボリューム  
VOLつまみを押しながら、SOUNDボタンを  
2秒以上押す  
この設定は、本体でもできます(56~57ページ)。



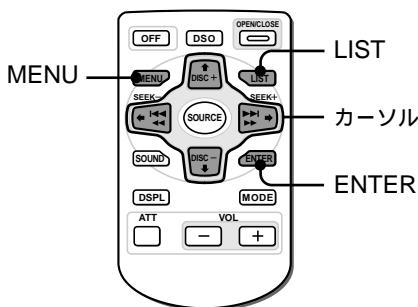
# メニュー画面 / リスト表示について

MENUボタンまたはLISTボタンを押すと  
次のようなメニューまたはリストが表示さ  
れます。

ちょっと一言

↑/↓(DISC/PRST)ボタン  
を2秒以上押すと、  
メニュー項目のカテゴリー\*  
がスキップします。

- \* • Set: 一般設定
- Dis: 表示の設定
- P/M: 再生 / 受信設定
- Snd: サウンドの設定
- Edt: 名前の編集設定

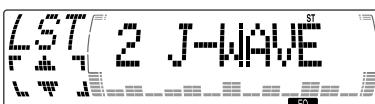


メニュー画面(MENUボタンを押して表示)



- ① MENUボタンを押すと各種設定や調節を行う画面になります。
- ② ↑/↓(DISC/PRST)または←/→(SEEK/AMS)を押して設定項目と設定内容を選び、ENTERボタンを押して決定します。
- ③ MENUボタンを押すと、メニュー画面を解除して通常画面に戻ります。

リスト画面(LISTボタンを押して表示)



ちょっと一言

- ディスク名のついていないディスクの場合、「\*\*\*\*\*」と表示されます。
- 現在受信中のプリセット番号または再生中のディスク表示のときは点滅します。

## メニュー画面／リスト表示について(つづき)

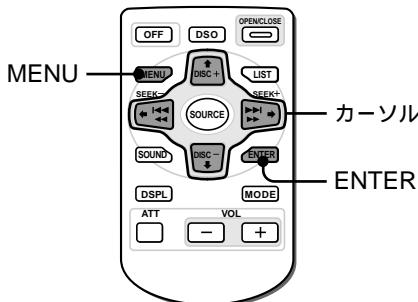
登録名でディスクまたはプリセット局を選ぶには

- ① ラジオ受信中、または別売りのCD/MDチェンジャー／ネットのディスクを再生中にLISTボタンを押します。
- ②  $\uparrow/\downarrow$ (DISC/PRST)を押して聞きたい放送局またはディスク名を表示させます。
- ③ ENTERボタンを押すと、放送局またはディスクが切り換わります。

選択した項目を変更しないでもとの画面に戻るには、LISTボタンを押します。

# 時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ちょっと一言

D.Info機能をonに設定すると常時時計が表示されます  
(ただし、SAモードの一部では表示されないことがあります)(56ページ)

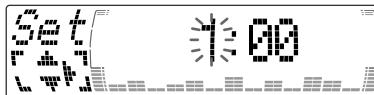
時計

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Clock」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



① ↑または↓を押して「時」を合わせます。

② →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を押して「分」を合わせます。

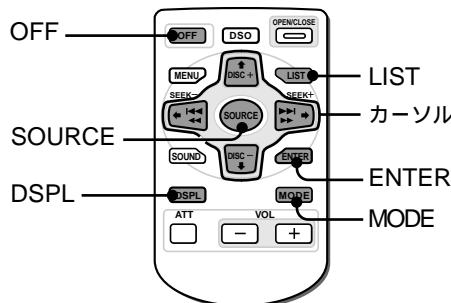
↓側を押すと数値が戻り、↑側を押すと数値が進みます。

4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

# CD/MDを聞く

本機または別売りのCD/MD機器を使って、CDやMDを再生できます。



## 聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。
- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器(本機または別売りのCD/MD機器)に切り換える。

### CDの場合

CD1(本機)→CD2(CD機器1)→  
CD3(CD機器2)

### MDの場合

MD1(MD機器1)→MD2(MD機器2)→  
MD3(MD機器3)

### 再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

## 聞きたいディスクを選ぶには

再生中に↑または↓を繰り返し押す。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

## ディスク名から選ぶには

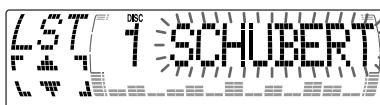
### ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しきれないことがあります。
- 「\*\*\*\*\*」と表示されたときはディスク名のついていないディスクです。

**1** SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

**2** LISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



**3** ↑または↓を押してディスク名を表示させる。

**4** ENTERボタンを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

ディスク名の登録方法については、「ディスクに名前を付ける」(23ページ)をご覧ください。

## 聞きたい曲を選ぶには

再生中に◀または▶を繰り返し押す。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

### 曲の聞きたいところにするには

再生中に◀または▶を押し続けて、聞きたいところで離します。

[次のページへつづく](#)

## CD/MDを聞く(つづき)

### ご注意

CDチェンジャーのディスクを曲名から選ぶことができるはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。

### ちょっと一言

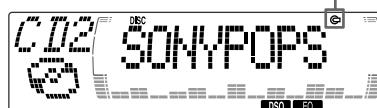
「オートスクロールの設定」(56ページ)でA.Scrl onにしておくと、ディスプレイが変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。

### 表示窓の見かた

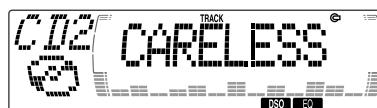
再生中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り替えます。

#### CD再生の場合

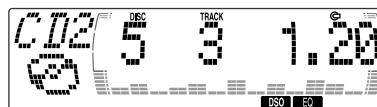
本機にCDが入っているときに点灯



ディスク名/アーティスト名<sup>\*1\*2</sup>



曲名<sup>\*3</sup>(MDとCD TEXTのみ)



ディスク番号、曲番号と  
再生経過時間

\*1 ディスク名がついていない時は「NO D.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

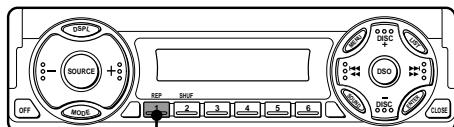
\*2 CD TEXTにディスクメモ機能で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。

\*3 曲名がついていないときは「NO T.Name」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

# 繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



数字ボタン1

ちょっと一言

カードリモコンで操作するときは、

- 1 CDまたはMDを再生中に MENUボタンを押す
- 2 ↑または↓を繰り返し押して、「Repeat」表示にする。
- 3 →を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。
- 4 ENTERボタンを押す。

CDまたはMDを再生中に本機の数字ボタン1 (REP) ボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返す ..... 「Repeat 1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す ..... 「Repeat 2」\*にする。

\* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

再生中の曲または、ディスクのリピート再生になります。

C  
D  
·  
M  
D

リピート再生をやめるには  
設定の手順で「Repeat off」を選びます。

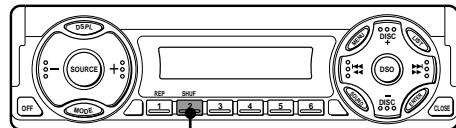
# 曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

ちょっと一言

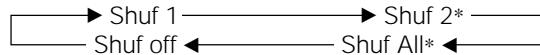
- ・ シャッフル再生中は、同じ曲が2度以上再生されることがあります。
- ・ カードリモコンで操作するときは、
  - 1 CDまたはMDを再生中に MENUボタンを押す
  - 2 ↑または↓を繰り返し押して、「Shuf」表示にする。
  - 3 →を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。
  - 4 ENTERボタンを押す。



数字ボタン2

CDまたはMDの再生中に数字ボタン2( SHUF )ボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- ・ 再生中のディスク内の全曲を順不同に再生するには .....「Shuf 1」にする。
- ・ 再生しているチェンジャー内のディスクを順不同に再生するには .....「Shuf 2」\*にする。
- ・ 接続している2台以上のチェンジャー内のディスクの曲を順不同に再生するには .....「Shuf All」\*にする。

\* CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

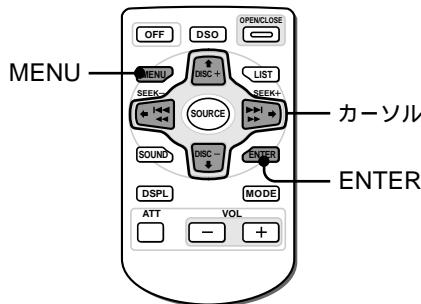
再生中の曲のあとシャッフル再生になります。

シャッフル再生をやめるには  
設定の手順で「Shuf off」を選びます。

# ディスクに名前 をつける

(ディスクメモ/カスタム  
ファイル)

別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。



ちょっと一言

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。

ちょっと一言

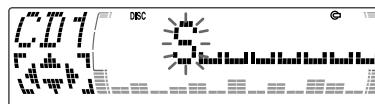
- ↑を押すごとに  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 → +  
→ - → \* → / → \ →  
→ . → , → ▶  
と変わります。
- ↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字をあけたいときは、「◀」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、◀を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Name Edit」を表示させ、ENTERボタンを押す。



3 ↑または↓を押して入力する文字を表示させ、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

4 手順3を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

CD  
·  
MD

次のページへつづく

## ディスクに名前をつける(つづき)

### 名前を消去するには

- 1 CDの再生中にMENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を押して「Name Del」を表示させ、ENTERボタンを押す。



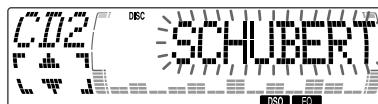
#### ご注意

- 手順3では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が登録された順に表示されます。最後に入力した名前が最後に表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前がみつからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

#### ちょっと一言

- 「ディスクに名前をつける」(23ページ)の手順3で、すべての文字に「...」を入力して名前を消すこともできます。
- すべての名前を消去したときは「NO Data」と表示され、通常表示に戻ります。

- 3 ↑または↓を押して消去するディスクの名前を表示させる。



- 4 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順3~4を繰り返します。

- 5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

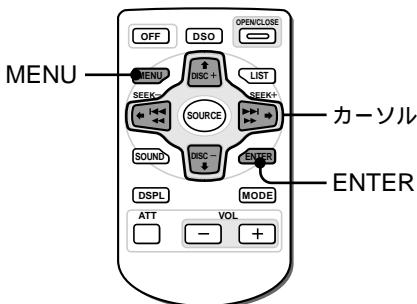
# CDの聞きたい曲だけを聞く (バンク/カスタムファイル)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、別売りのCDチェンジャーを接続してディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけたCDのみです。

## ご注意

- 「Skip」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「Skip」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

CD  
•  
MD

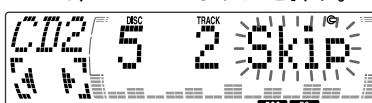


## とばす曲を指定する

- 名前をつけたCDを再生する。
- MENUボタンを押す。
- ↑または↓を押して「Bank Sel」を選ぶ。



- ENTERボタンを押す。
- ←または→を押してとばしたい曲の番号を表示させて、ENTERボタンを押す。



表示が「Play」(再生する)から「Skip」(とばす)に変わります。「Play」に戻すときは、もう一度ENTERボタンを押します。

- 手順5を繰り返して、とばす曲全部に「Skip」を設定する。
- MENUボタンを2回押す。  
通常の画面が表示されます。

次のページへつづく

## CDの聞きたい曲だけを聞く(つづき)

ちょっと一言

パンク機能で再生中は、  
「BANK」表示が次ぎのように表示されます。  
「BANK on」：点灯  
「BANK inv」：点滅

### 曲をとばしながら聞く

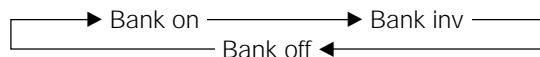
1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「Bank」を表示させる。



3 →を繰り返し押して、再生のモードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



「Play」(再生する)を設定した曲だけ再生する

.....「Bank on」にする。

「Skip」(とばす)を設定した曲だけ再生する

.....「Bank inv」にする。

4 ENTERボタンを押す。

設定したモードで再生します。

パンク再生をやめるには

手順3で「Bank off」を選びます。

# ディスクを名前で探す

## (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選択することができます。

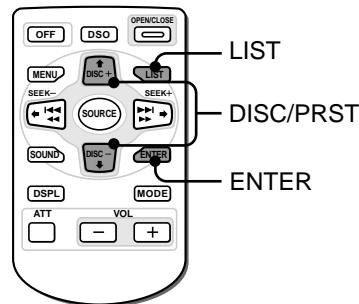
- ・別売りのMDチェンジャーを接続した場合
- ・別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャーを接続した場合

CDについてはディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

### ご注意

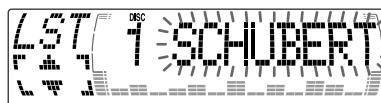
ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。

- 「NO Disc」: ディスクが入っていない。
- 「\*\*\*\*\*」: 名前がついていない。
- 「?」: ディスク情報を読み込んでいない。



### 1 再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



### 2 ↑または↓を押して聞きたいディスク名を表示させる。

### 3 ENTERボタンを押す。

選んだディスクの1曲目から再生が始まります。

CD · MD

# CD TEXTを見る

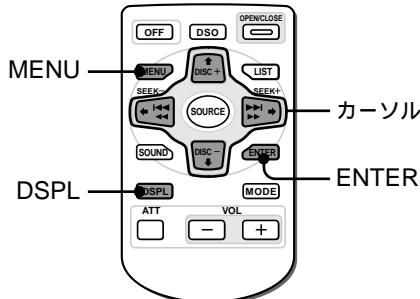
本機またはCD TEXT対応のCDチェンジャーでCD TEXT対応のディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。

CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

ご注意

- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合は、すべての文字数を表示しきれないことがあります。
- 曲名のオートスクロールは、DSPLボタンを押して曲名表示にしているときだけです。



## ディスク名表示を換えるには

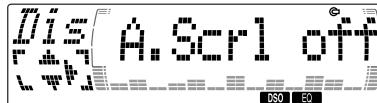
ディスクメモ機能(23ページ)で名前を登録したCD TEXTディスクを再生している場合は、ディスクメモ名が表示されます。

## オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応のCDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったときにディスク名、曲名およびアーティスト名が自動的に表示されます。この設定を「on」にすると11文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロールさせることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「A.Scrl」表示にする。



3 →を押して「A.Scrl on」にする。

4 ENTERボタンを押す。

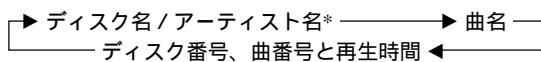
通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには

手順3で「A.Scrl off」を選びます。

CD TEXT対応ディスクを再生すると

DSPLボタンを押すごとに



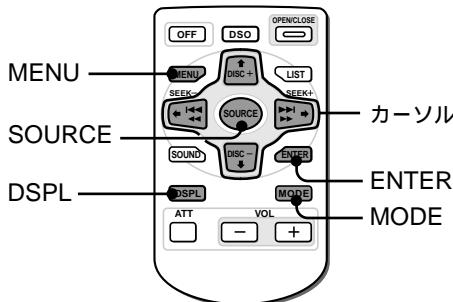
と切り換わります。

\* アーティスト名はディスク名のあとに自動的に表示されます。また  
アーティスト名の記録されていないディスクもあります。

C  
D  
·  
M  
D

# 放送局を自動で登録する

受信できる放送局を自動的に登録します。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



## ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

## ちょっと一言

放送局の名前のつけかたは34ページをご覧ください。

**1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。**

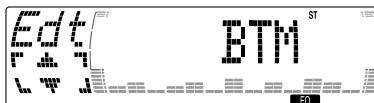
**2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。**

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。

**3 MENUボタンを押す。**

**4 ↑または↓を押して「BTM」表示にする。**



**5 ENTERボタンを押す。**

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が点滅表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

## ちょっと一言

本機のボタンで操作するときは、数字ボタンを押して切り替えます。

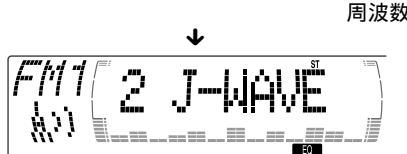
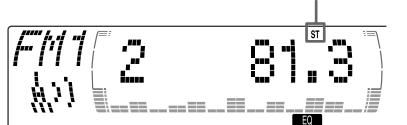
## 登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。

## 表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して表示を切り替えます。

ステレオ放送受信時に点灯



ラジオ

\* ステーションメモ機能(34ページ)で名前を登録されていない場合は、「NO Name」と一瞬表示された後、周波数表示になります。

## 旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

◀または▶を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- ・聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数の近くまで◀または▶を押し続け、さらに短く◀または▶を押します。
- ・自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
  - 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押して、↑または↓を繰り返し押して「Local」表示にする。
  - 2 ▶を押して「Local on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順2で「Local off」を選びます。

次のページへつづく

## 放送局を自動で登録する(つづき)

### ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押して、↑または↓を繰り返し押して「Mono」表示にする。
- 2 →を押して「Mono on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには  
手順2で「Mono off」を選びます。

### FM放送局が混信するときは

受信している周波数の近くにほかの放送局があり、混信するときに設定します。通常は「IF Auto」にしておくと自動で切り換わります。

設定の種類	設定内容
IF Auto	自動的に混信しないように切り替えます。
Wide	音質を優先するとき。

- 1 FM受信中にMENUボタンを押す。

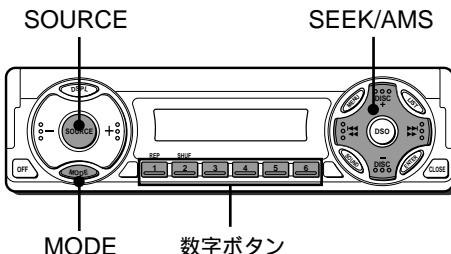
- 2 ↑または↓を繰り返し押して、「IF Auto」表示にする。

- 3 →を押して「Wide」を選び、ENTERボタンを押す。

# 特定の放送局を登録する

放送局を自動登録(30ページ)したあと、空いているプリセットチャンネルに他の放送局を追加登録できます。

この登録は本機のボタン操作で行います。



## ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ラジオ

**1** SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。

**2** MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

押すごとに

FM1 → FM2 → AM1 → AM2  
と切り換わります。

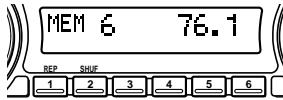
**3** 本機のSEEK/AMSボタンの◀◀または▶▶を押し続けて、登録する放送局の周波数が表示されたところで離す。



## ちょっと一言

「FM1」、「FM2」、「AM1」  
および「AM2」のそれぞれに  
6局ずつ、合わせてFM、AM  
各12局ずつ設定できます。

**4** 登録したいプリセット番号と同じ数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。

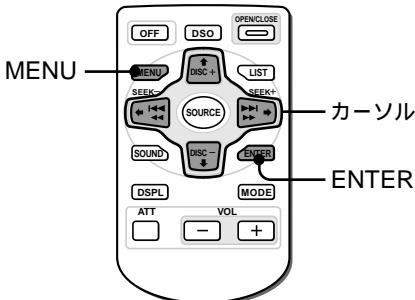


押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

# 放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



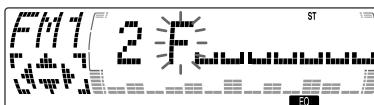
1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Edit」表示にして、ENTERボタンを押す。



4 ↑または↓を繰り返し押して、挿入する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

5 手順4を繰り返して、名前を入力し終えたら ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- ↑を押すごとに  
A → B → C → ... Z →  
0 → 1 → 2 → ... 9 →  
+ → - → \* → / →  
\ → → → . → ↲  
と変わります。
- ↓を押すと、逆順に表示されます。
- 文字を空けたいときは、  
「 ↲ 」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい  
文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

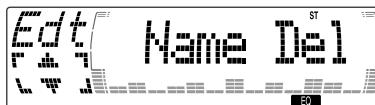
ちょっと一言

- ・「放送局に名前をつける」(34ページ)の手順4で、すべての文字に「**□**」を入力して名前を消すこともできます。
- ・すべての放送局名を消去したときは「NO Data」と表示され、通常表示に戻ります。

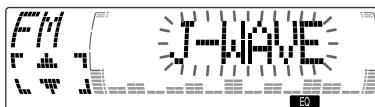
## 放送局の名前を消去する

1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Del」表示にして、ENTERボタンを押す。



3 ↑または↓を繰り返し押して、消去する放送局名を選ぶ。



4 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順3~4を繰り返します。

5 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

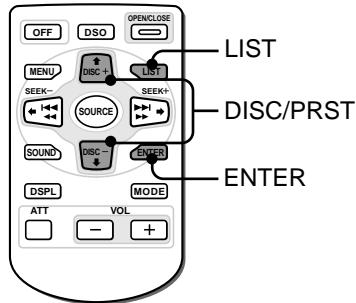
# 放送局を名前で 探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、34ページをご覧ください。

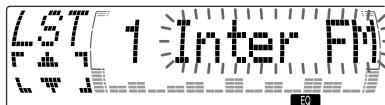
ちょっと一言

選択をキャンセルするには  
LISTボタンを押します。



**1** ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



**2** ↑または↓を押して聞きたい放送局を表示させる。

**3** ENTERボタンを押す。

選んだ放送局に切り換わり、通常の画面が表示されます。

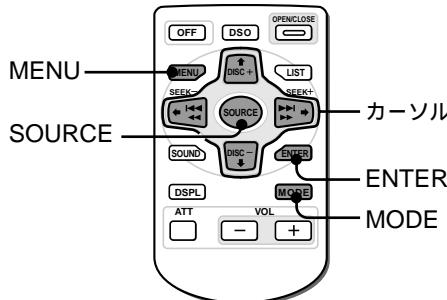
ロータリーコマンダー(別売り)で放送局を選ぶには  
VOLつまみを押しながら回すとリストの中の放送局名を選択できます。

# 別売りのテレビを見る

テレビを見るには、別売りのTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

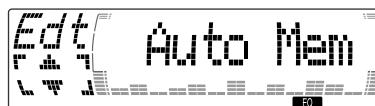
ちょっと一言

- あらかじめ受信できる放送局を登録すると、簡単にチャンネルを選ぶことができます。
- 「TV1」と「TV2」のそれぞれに6局ずつ、合わせて12局まで登録できます。



## チャンネルを登録する

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して「TV」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押して、「TV1」または「TV2」にする。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を繰り返し押して、「Auto Mem」表示にする。



- 5 ENTERボタンを押す。

「Auto Mem」が数秒間点滅表示され、受信状態の良い放送局が周波数順に登録されます。

TVモニターには「選局中」\*などと表示されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

\* 表示はTVモニターの機種により異なります。

## 別売りのテレビを見る(つづき)

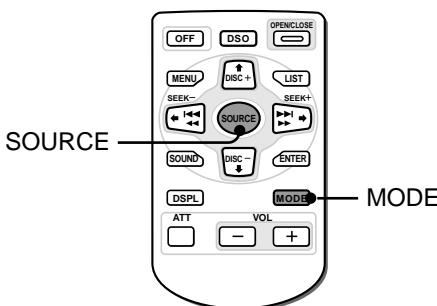
### 操作のしかた

選びかた/探しかた	操作のしかた
チャンネルを選ぶには	↑または↓を繰り返し押す。
強制的にモノラル受信するには	「ステレオ放送が聞きにくいとき」(32ページ)の操作をする。
副音声を聞くには (音声多重放送時のみ)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 TV受信中にMENUボタンを押す。</li><li>2 ↑または↓を繰り返し押して「Main」または「Sub」表示にする。</li><li>3 「Main」の表示がされた場合は、→を押して「Sub」を選び、ENTERボタンを押す。</li></ol> <p>通常の音声に戻すには手順3で「Main」を選びます。</p>
特定のチャンネルを登録するには	<ol style="list-style-type: none"><li>1 SOURCEボタンを繰り返し押しして「TV」にする。</li><li>2 MODEボタンを押して「TV1」または「TV2」にする。</li><li>3 本機のSEEK/AMSボタンの◀▶または▶▶▶を押して登録するテレビ局を受信する。</li><li>4 登録したい本機の数字ボタンを「MEM」が表示されるまで押す。</li></ol>
テレビ局に名前をつけるには	「放送局に名前をつける」(34ページ)の操作をする(手順1で、「TV1」または「TV2」を受信する)。

# 別売りのビデオを見る

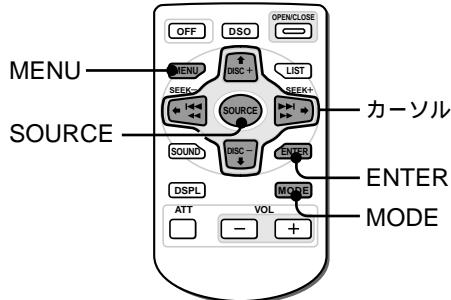
ビデオを見るには、別売りのビデオデッキおよびTVチューナーユニットとTVモニターを接続してください。

接続のときには、ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書をご覧ください。



- 1** SOURCEボタンを繰り返し押して「TV」を選ぶ。
- 2** MODEボタンを押して「AUX」を選ぶ。
- 3** ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

# 映像を見ながら ディスクを聞く (サイマルプレイ)



## ご注意

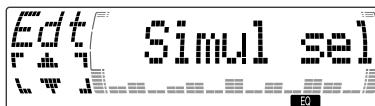
- ラジオを聞きながらのサイマルプレイはできません。
- サイマルプレイ中は、放送局やCD/MDの一覧は表示できません。
- サイマルプレイ中は、テレビの操作はできません。

## ちょっと一言

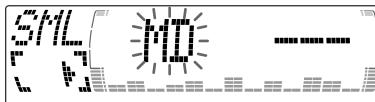
- MODEボタンを押すごとにTV1 → TV2 → V1と切り換わります。
- サイマルプレイ中、「AUX VIDEO」表示は「V1」となります。

1 CDまたはMD再生中にMENUボタンを押す。

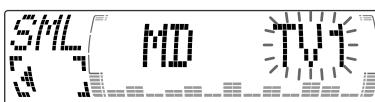
2 ↑または↓を繰り返し押して、「Simul sel」表示にして、ENTERボタンを押す。



3 ←を押して音声側を点滅させてから、SOURCEボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶ。



4 →を押して映像側を点滅させてから、SOURCEボタンを繰り返し押して、「TV」を選び、MODEボタンを押して「TV」または「V1」表示にする。



5 ENTERボタンを押す。  
サイマルプレイが始まります。

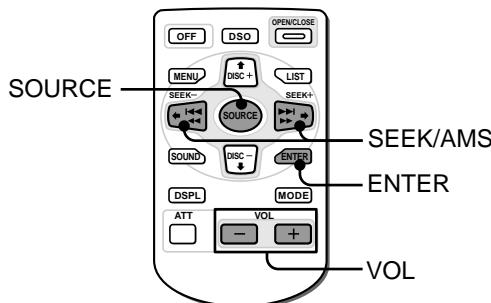
サイマルプレイをやめるには  
テレビまたはビデオを止めるには  
手順4で「- - -」を選びます。  
CDまたはMDを止めるには  
手順3で「- - -」を選びます。

# 電話をかける

別売りのPDCハンズフリーユニットXCH-1000を接続すると、携帯電話を手に持たずに通話することができます。相手の音声はカーオーディオのスピーカーから聞こえ、こちらの音声はサンバマイクを通して相手に伝えられます。

## ご注意

- ・携帯電話に登録されている名前は、アルファベットとカタカナ、数字のみ表示でります。
- また、小文字や記号は大文字に変換されたり、表示できしない場合もあります。
- ・電話側の登録可能件数に関わらず、本機では、携帯電話のプリセット番号000～299(001～300)に登録されているメモリーのみを表示します。
- ・携帯電話に300件全て登録されている場合は、アダプター接続後、全てを表示するのに、最大5分ほどかかります。
- ・本機に表示される電波の強さは、携帯電話の表示とは一致しません。
- ・次の表示の場合、電話がかけられません。  
 「No Service」:  
 圏外のとき  
 「No Answer」:  
 発信不能のとき  
 「No Phone」:  
 電話が接続されていない



**1** SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。

**2** VOL +/-を押して、携帯電話に登録されている電話番号や相手の名前を選ぶ。



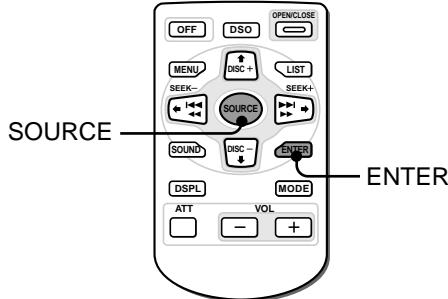
発信 / 着信履歴にある番号にかけるには

←または→を押して履歴にある番号を探す。

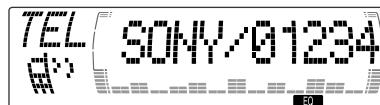
発信 / 着信履歴の表示のしかたについては、43ページをご覧ください。

**3** ENTERボタンを押して発信する。

# 電話を受ける

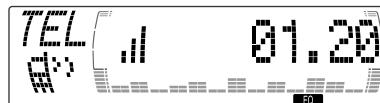


- 1 スピーカーと本体から着信音がなり、自動的に「TEL」に切り変わる。



電話機の設定により相手の名前と電話番号を表示します。

- 2 ENTERボタンを押す。



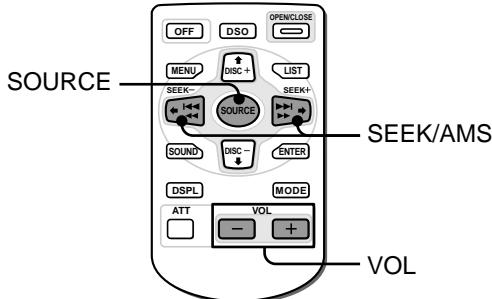
電話がつながると、通話時間が表示されます。

電話を受けずに元のソースに戻るには  
手順2でSOURCEボタンを押します。

## ご注意

表示される通話時間は厳密ではありません。目安としてください。

# その他の操作



## ご注意

- 次の場合、通話が途切れます。  
SOURCEボタンを押し  
たとき  
サービスエリア外や電波  
が届かない所へ移動した  
とき
- 携帯電話で通話する際は、  
ハンズフリーユニットから  
外さないとご使用になられま  
せん。
- 携帯電話をハンズフリーユ  
ニットから外すと、発信/着  
信履歴が消去されます。

## 通話が終わったら

もとのソースに戻るときは、SOURCEボタンを押す。  
通話相手が電話を切ったときは、自動的に元のソースに戻り  
ます。

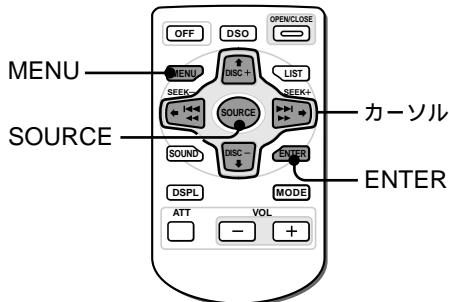
## 受話器の音量を調節するには

VOLボタンを押して希望の音量に調節してください。

## 発信・着信履歴を表示するには

→を押すと発信履歴、←を押すと着信履歴がそれぞれ最大9  
件まで呼び出せます。

# その他の設定



## 着信の設定

- ・「RCV ON/OFF」→ 電話を受けられないようにする（着信拒否設定）
- ・「Alarm」→ 本体の着信音をON/OFFする（スピーカーからの着信音はOFFできません）

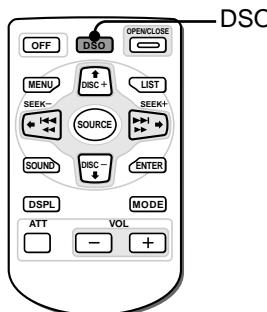
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して設定したい項目を選ぶ。
- 4 →を押して設定選び、ENTERボタンを押す。

## 発信・着信履歴を消去する

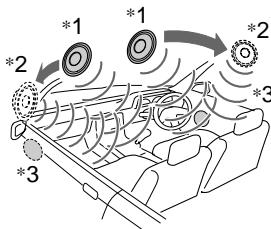
- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「TEL」表示にする。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を押して「History」を選び、ENTERボタンを2秒以上押す。  
「Clear」が数秒間表示され、発信・着信履歴が消去されます。

# DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。



## バーチャルスピーカーのイメージ



\*1 スタンダード

\*2 ワイド

\*3 実際のスピーカー(フロントドア下)

## ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

## DSOを選ぶ

設定の種類	設定内容
DSO 1~3	バーチャルスピーカー(スタンダード)
DSO Wide	バーチャルスピーカー(ワイド)
DSO off	DSO設定解除

**1** 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する

**2** DSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。

押すごとに

DSO 1 → DSO 2 → DSO 3 → DSO Wide →

DSO off

と切り換わります。



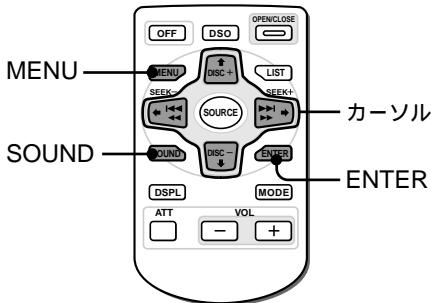
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

## DSOをやめるには

設定の手順2で「DSO off」を選びます。

# イコライザーを使う(EQ)

本機には音楽のジャンルに合わせた4種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



## イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「EQ」表示にする。
- 3 3秒以内に←または→を繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。

押すごとに

Rock ↔ Vocal ↔ Groove ↔ Techno ↔

Custom ↔ off

と切り換わります。



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

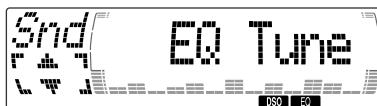
イコライザーを解除するには  
手順3で「off」を選びます。

## 好きなイコライザーカーブを登録する

**1** 設定するソース( CD、MD、ラジオなど )を再生 / 受信する。

**2** MENUボタンを押す。

**3** ↑または↓を繰り返し押して、「EQ Tune」表示にして、ENTERボタンを押す。



### ご注意

EQ offでは、イコライザーカーブの調節はできません。

### ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は ±12dBです。

**4** ←または→を繰り返し押して、イコライザーカーブを選び、ENTERボタンを押す。



**5** ←または→を繰り返し押して、周波数を選ぶ。

押すごとに

62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔ 1.0kHz ↔ 2.5kHz

↔ 6.3kHz ↔ 16.0kHz

と切り換わります。

**6** ↑または↓を繰り返し押して、レベルを調節する。

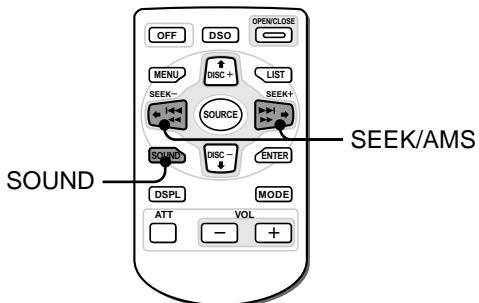
手順5と6を繰り返して、イコライザーカーブを調節します。

**7** MENUボタンを2回押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには  
設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押します。

# リスニングポジションを設定する (POS)

聞き手の位置(リスニングポジション)を選ぶと、各スピーカーからの音の到達時間を見調節し、自然な音像定位を得ることができます。本機には5種類のリスニングポジションが用意されています。



## 設定を選ぶ

設定の種類	設定内容
All	全席(運転席/助手席/後席)
Front	前席(運転席/助手席)
Front-R	前方右(運転席)
Front-L	前方左(助手席)
Rear	後席
off	ポジション設定解除

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「POS」表示にする。

## ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

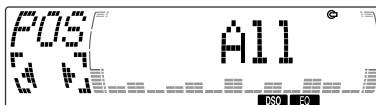
- 3** 3秒以内に←または→を繰り返し押して、リスニングポジションを選ぶ。

押すごとに

All ↔ Front ↔ Front-R ↔ Front-L ↔

Rear ↔ off

と切り換わります。



約3秒後に、通常の画面が表示されます。

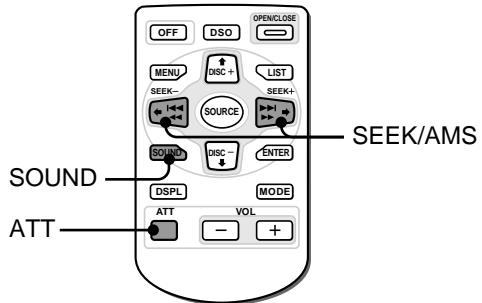
リスニングポジション設定を解除するには  
設定の手順3で「off」を選びます。

# 音のバランスや音質を設定する

(バランス)

(ATT)

(ソースサウンドメモリー)



ちょっと一言

SOUND/EQボタンを押すごとに

EQ → POS → BAL → F  
→ R → SUB → 通常画面  
→ EQ

と切り換わります。

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

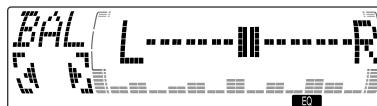
ちょっと一言

- ロータリーコマンダーのATTボタンでも操作できます。
- 本機のボタンでは操作できません。

## 出力バランスを調節する

左右のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

- 1 設定するソース( CD、MD、ラジオなど )を再生 / 受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAL」表示にする。



- 3 3秒以内に←または→を繰り返し押して、出力バランスを調節する。  
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

## 音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

「ATT on」と表示され、自動的に音量を下げます。

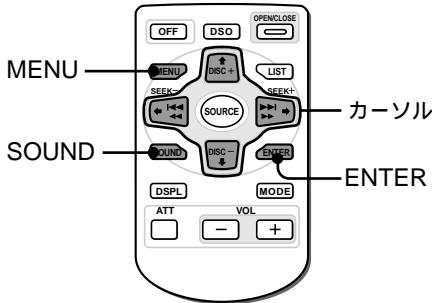
もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。  
「ATT off」と表示され、もとの音量に戻ります。

## ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース( FM、AM、CD、MD、TV、AUX )ごとに DSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています( ソースサウンドメモリー )。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

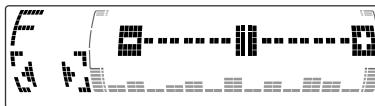
# スピーカーの出力を設定する

設置されているシステムの特性に合わせて、フロントとリアの出力レベル及び周波数帯域を調節することができます。



## 出力レベルを調整する

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「F」または「R」表示にする。



- 3 3秒以内に←または→を繰り返し押して、出力レベルを調整する。  
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言  
3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

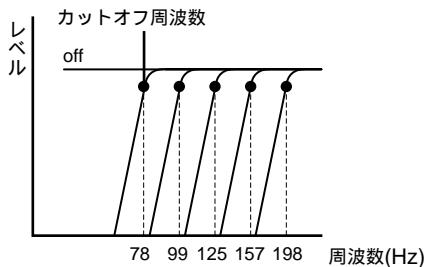
サウンドの設定

[次のページへつづく](#)

## スピーカーの出力を設定する(つづき)

### フロント / リアスピーカー出力のカットオフ周波数を選ぶ

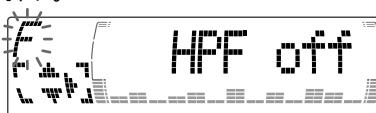
高音質スピーカーの性能を生かしきるためフロントとリアを独立してカットオフ周波数を調整できます。カットオフ周波数を調整することにより、低い周波数成分をカットし、歯切れの良い中高音を作り出すことができます。たとえば、78Hzを選ぶと、78Hz以下の音が除かれます。



**1** 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。

**2** MENUボタンを押す。

**3** ↑または↓を繰り返し押して、「Front HPF」または「Rear HPF」表示にして、ENTERボタンを押す。



**4** ←または→を繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。

**5** ↑または↓を繰り返し押して、出力レベルを調整する。

**6** MENUボタンを2回押す。

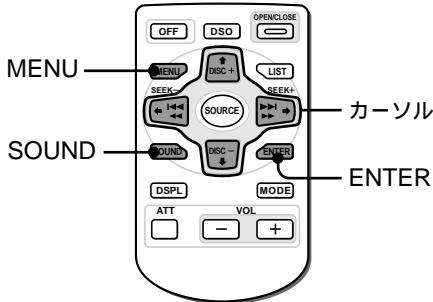
通常の画面に戻ります。

ちょっと一言

- ←または→を押すごとに  
off(初期値) ← 78Hz ←  
99Hz ← 125Hz ←  
157Hz ← 198Hz  
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲  
は±12dBです。

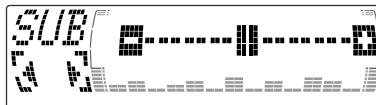
# サブウーファーの出力を設定する

サブウーファー音声出力端子に接続したサブウーファーの周波数特性や再生ソースに合わせて、出力レベルを調節することができます。



## 出力レベルを調整する

- 1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。
- 2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「SUB」表示にする。



- 3 3秒以内に←または→を繰り返し押して、出力レベルを調整する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

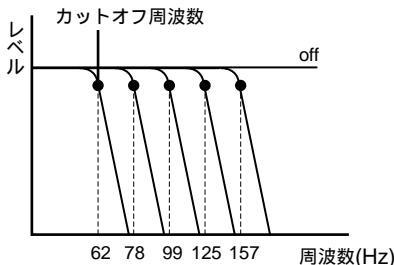
サウンドの設定

[次のページへつづく](#)

## サブウーファーの出力を設定する(つづき)

### カットオフ周波数を選ぶ

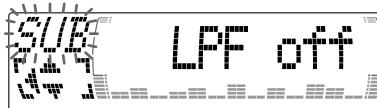
音の指向性(方向)は高い周波数成分に支配されます。サブウーファーのカットオフ周波数を調整することにより、高い周波数成分をカットし、サブウーファーの設置場所を意識させない、歯切れの良い重低音を作り出すことができます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「Sub LPF」を表示、ENTERボタンを押す。



4 ←または→を繰り返し押して、カットオフ周波数を選ぶ。

5 ↑または↓を繰り返し押して、出力レベルを調整する。

6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面に戻ります。

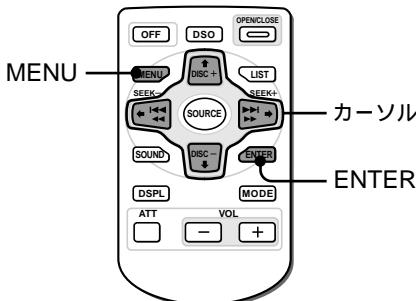
#### ちょっと一言

- ←または→を押すごとに  
62Hz ↔ 78Hz ↔ 99Hz  
↔ 125Hz ↔ 157Hz ↔  
off  
と変わります。
- 出力レベルの調整可能範囲  
は±12dBです。

# スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。

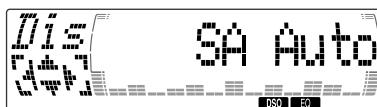
表示パターンは6種類の中から選ぶことができます。



1 設定するソース(CD、MD、ラジオなど)を再生／受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「SA」表示にする。



4 ←または→を押してスペクトラムアナライザーのパターンを選ぶ。

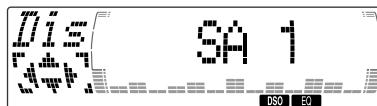
押すごとに

SA 1 ↔ SA 2 ↔ SA 3 ↔ SA 4 ↔ SA 5 ↔

SA 6 ↔ SA off ↔ SA Auto\*

と切り換わります。

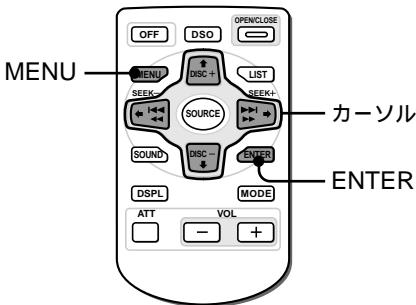
\* SA 1～SA 6のパターンを順に表示します。



5 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

## 音や表示などの設定を変える ( Set/Dis/Snd )



### Set( セットアップ )メニュー

設定の種類	設定内容
「Clock」	時計の設定(17ページ)。
「Beep」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。
「RM」	ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。 「norm」 → 初期設定の回転方向。 「rev」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

### Dis( ディスプレイ )メニュー

設定の種類	設定内容
「D.Info」	時計を表示させる。
「SA」	スペクトラムアナライザーの設定(55ページ)。
「Dimmer」	表示窓の減光を設定する。 「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。 (車の照明電源に接続されている場合のみ) 「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。 「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。
「Contrast」	表示のコントラストを変える。
「M.Dspl」	モーションディスプレイの設定をする。 「on」 → 表示中にモーションディスプレイする。 「off」 → モーションディスプレイしない。
「A.Scr」	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる(28ページ)。

## Snd( サウンド )メニュー

### 設定の種類 設定内容

「EQ Tune」 イコライザーカーブの登録をする  
( 47 ページ )

「Front HPF」 フロントスピーカー出力のカットオフ周波数を設定する ( 52 ページ )

「Rear HPF」 リアスピーカー出力のカットオフ周波数を設定する ( 52 ページ )

「Sub LPF」 サブウーファー出力のカットオフ周波数を設定する ( 54 ページ )

## 設定を変える

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、設定したい項目を表示させる。

3 ←または→を押して調節したい設定にする。

( 例 : 「on」 または 「off」 )

4 ENTERボタンを押す。

### ちょっと一言

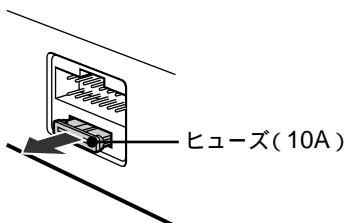
- メニュー項目をスキップさせるには↑または↓を2秒以上押します。
- 設定する項目によって←が働かない場合があります。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱い

### ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



### 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままでと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

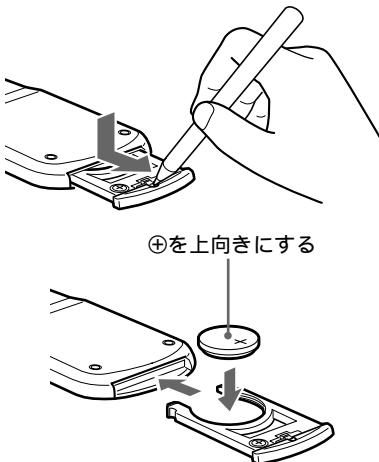
周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。

もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

## カードリモコン

### 電池の入れかた

リチウム電池CR2025の $\oplus$ と $\ominus$ を正しく入れてください。



### 電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます(使用方法によっては短くなります)。

カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

**電池についての安全上のご注意**  
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、  
下記のことを必ずお守りください。

### △警告

- ・ 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 電池は充電しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。

### △注意

- ・ +と - の向きを正しく入れる。
- ・ 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとつてから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

**カードリモコンについてのご注意**

- ・ ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- ・ 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- ・ 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

# 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。  
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>音量を上げてください。</li><li>ATT機能を解除してください。</li><li>スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。</li></ul>
共通	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"><li>リセットボタンを押した。</li><li>動作用電源コードまたはバッテリーを外した。</li><li>電源コードが正しく接続されていない。</li></ul>
ボタン	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定(56~57ページ)を「on」にしてください。
	なにも表示されない。	OFFボタンを2秒以上押して時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押して、時計表示を出してください。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"><li>すでに別のディスクが入っている。</li><li>ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → レーベル(ラベル)面を上にして入れてください。</li></ul>
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。</li><li>ディスクが傷ついている。</li><li>本機の取り付け角度が60°を越えている。</li><li>本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。</li></ul>

症状	原因・処置
ラジオ/テレビ 受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリー電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合です。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。</li> <li>カーアンテナとの接続を確認してください。</li> <li>オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。</li> <li>周波数を確認してください。</li> </ul>
SEEK/AMSボタンを押しても 聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Local」と表示されている場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →表示を消してください(31ページ)</li> <li>電波が弱くて自動選局できない。 →←または→を押し続けて周波数を合わせてください。</li> </ul>
ステレオ放送が聞きにくい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>周波数を確認してください。</li> <li>電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください(32ページ)</li> </ul>
サウンド設定 音がない、または音が小さい。	<p>DSOやリスニングポジションの調節でエフェクトレベルを上げすぎて、後部座席のスピーカーの音量が自動的に小さくなったり。または、バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなったり。</p> <p>→サウンドを調節します。スピーカーバランスはサウンドの設定(50ページ)で調節できます。</p>
携帯電話 通話相手の音声が聞こえない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーの音量が「0」または最小になっている。 →本機のVOLボタンで音量を調整してください。</li> <li>走行ノイズなど、周囲の雑音が大きいとき、マイクより音声入力があったものと認識して通話相手の音声を閉じてしまうことがあります。</li> </ul>
ダイヤルしたが話中音がして つながらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話番号が間違っている(市外局番を入れていない)。</li> <li>通話相手が圏外にいる。</li> <li>電波の弱いところにいる。 →サービスエリア内でダイヤルしてください。</li> <li>アンテナを十分に伸ばしていない。</li> </ul>

次のページへつづく

## 故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
携帯電話	ENTERボタンを押しても発信できない。
	• 携帯電話の発信制限やメモリ制限がかかっている。 • 携帯電話の簡易ダイヤルロックがかかっている。
	携帯電話機に登録されたメモリが呼び出せない。
	• 携帯電話の短縮ダイヤル使用制限などがかかっている。 • 携帯電話ハンズフリーキットXCH-1000で取り込むことのできるプリセット番号以外の番号に登録されている(41ページ)。 • 登録されているメモリ件数が多いため、呼び出すのに時間がかかっている。 → しばらくお待ちください(最大5分)。
電話	電話がかかってこない。
	携帯電話の着信制限がかかっている。
	電話がかからない。
「No phone」と表示される。	• 「No Service」(圏外)や「No Answer」(発信不能)が表示されている。 → しばらく待ってからかけ直してください。 • 回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている。 → しばらく待ってからかけ直してください。
	携帯電話が接続されていない。 → 携帯電話を接続してください。

## CD/MDのメッセージ、エラー表示

本機や本機に接続されたCDチェンジャー、MDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
<b>Blank Disc</b>	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
<b>No Disc</b>	チェンジャーにディスクが入ってない。	ディスクを入れる。
<b>No Mag</b>	CDチェンジャーにディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CDチェンジャーに入れる。
<b>NG Discs</b>	チェンジャー内のディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのCD/MDに入れ換える。
<b>Push Reset</b>	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。
<b>Disc Error</b>	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。

# 保証書とアフターサービス

## 保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

## 保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

## 部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

# 主な仕様

## CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

本体寸法

約178×50×182mm

(幅/高さ/奥行き)

取付寸法

約178×50×163mm

(幅/高さ/奥行き)

質量

約1.5kg

付属品

カードリモコン

RM-X92(1)

(リチウム電池(1)を含む)

取り付け/接続部品(一式)

取扱説明書(一式)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

保証書(1)

CDチェンジャー(10枚)

CDX-838、CDX-737など

MDチェンジャー(6枚)

MDX-65など

PDCハンズフリーユニット

XCH-1000

パワーアンプ

XM-405EQXなど

ソースセレクター XA-C30

ロータリーコマンダー

RM-X4S

バスケーブル(RCAピンコード)

付属

RC-61(1m)

RC-62(2m)

バス延長コード

RC-U305(0.5m)

RCAピンコード

RC-63(1m)

RC-64(2m)

RC-65(5m)

電源コード RC-39

取付キット

GMD-236\*(欧州車、マツ

ダ車、フォード車用)

\* 取付キットGMD-236を使う場合は、取付キットの  
飾りフレームを使わずに本機に付属の飾りフレーム  
をお使いください。

## ご注意

本機には別売りのデジタルブリアンプやイコライ  
ザーは接続できません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更  
することがありますが、ご了承ください。

## チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 72dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)

別売品

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

## グラフィックイコライザー部

中心周波数	62Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±12dB

## アンプ部

適合インピーダンス	4~8
最大出力	50W×4(4 負荷1kHz)

## 電源部、その他

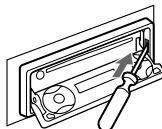
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	サブウーファー音声出力端子、 フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール、 バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビシステム用) イルミコントロール入力端子
入力端子	

# 本体の取り外しかた

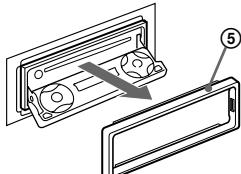
別売りの取付キットGMD-236(欧州車、マツダ車、フォード車用)を使った場合は次のように取り外してください。

## 通常のとき

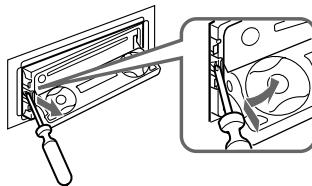
- 1 本体のOPENボタンを押してフロントパネルを開ける。
- 2 飾りフレームの右側のクリップ部を先の細いドライバーで押して、飾りフレームを浮かす。



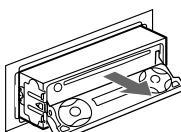
- 3 飾りフレームの左側も手順2と同様にして、飾りフレームを浮かして取り外す。



- 4 先の細いドライバーで左右の取付バネを片側づつ押しながら引き出す。

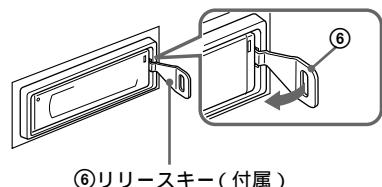


- 5 本体を取り外す。

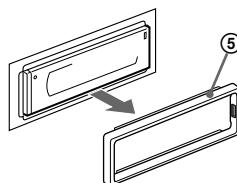


## 本機のヒューズ切れや機構部の故障などのとき

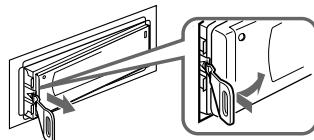
- 1 付属のリリースキーで飾りフレームの右側のクリップ部に入れ、こじるようにして、飾りフレームを浮かす。



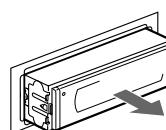
- 2 飾りフレームの左側も手順1と同様にして、飾りフレームを浮かして取り外す。



- 3 付属のリリースキーで左右の取付バネを片側づつ押しながら引き出す。



- 4 本体を取り外す。



# 索引

## 五十音順

### ア行

- イコライザー ..... 46~47  
エラー表示 ..... 63  
音量 ..... 8~9、43

### カ行

- カスタムファイル ..... 23~26

### サ行

- サイマルプレイ ..... 40  
サブウーファー出力 ..... 53~54  
スクロール ..... 28、56  
ステーションメモ ..... 34~35  
シャッフル ..... 22  
ステレオ放送 ..... 32  
スピーカーバランス ..... 50  
スペクトラムアナライザー ..... 55  
ソースサウンドメモリー ..... 50

### タ行

- ディスクメモ ..... 23~24  
テレビ ..... 37~40  
名前をつける ..... 38  
登録 ..... 37~38

#### 登録

- 自動登録 ..... 30~31  
ラジオ局 ..... 30~31、33  
テレビ局 ..... 37~38

- 時計 ..... 17

### ナ行

#### 名前

- 消去する ..... 24、35  
つける ..... 23、34、38  
表示する ..... 27、36

## 八行

- バランス ..... 50  
バンク ..... 25~26  
ヒューズ ..... 58  
表示窓  
  メニュー ..... 15  
  CD/MC ..... 20  
  ラジオ ..... 31  
ベストチューニングメモリー  
  (BTM) ..... 30  
ボタンの音 ..... 56

## ラ、ワ行

- ラジオ ..... 9、30~36  
自動選局 ..... 31  
登録 ..... 30~31、33  
名前で探す ..... 36  
名前をつける ..... 34  
リスト ..... 27、36  
リセット ..... 7  
リピート ..... 21  
リモコン  
  カードリモコン ..... 10~11  
  ロータリーコマンダー ..... 13~14

## アルファベット順

- ATT ..... 50  
BAL( Balance ) ..... 50  
CD/MC ..... 8、18~29  
  ディスク名のリスト ..... 27  
  名前で探す ..... 27  
  名前を消去する ..... 24  
  名前をつける ..... 23  
  CD TEXT ..... 28~29  
Dis( Display )  
  A.Scrl ..... 28、56  
  Bank sel ..... 25  
  Contrast ..... 56  
  D.Info ..... 56  
  Dimmer ..... 56  
  M.Dspl ..... 56  
  SA ..... 55、56  
DSO ..... 45  
Edt( Edit )  
  Auto Mem ..... 37  
  BTM ..... 30  
  Name edit ..... 23、34  
  Name Del ..... 24、35  
EQ ..... 46~47  
F( Front ) ..... 51  
IF Auto ..... 32  
P/M( Play Mode )  
  Bank ..... 26  
  Local ..... 31  
  Mono ..... 32  
POS ..... 48~49  
R( Rear ) ..... 51  
Repeat ..... 21  
Set( Set up )  
  Beep ..... 56  
  Clock ..... 17、56  
  RM ..... 56  
Shuf ..... 22  
Snd( Sound )  
  EQ tune ..... 47、57  
  Front HPF ..... 52、57  
  Rear HPF ..... 52、57  
  Sub LPF ..... 54、57  
SUB ..... 53  
Wide ..... 32

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル .....  0570-00-3311  
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax ..... 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Sony on line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。